



令和元年度 事業報告書

目次	
【総括】	・・・ 1
【事業報告】	
(1) 地域福祉活動の周知・啓発	・・・ 3
(2) 地域福祉力の向上	・・・ 6
(3) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり	・・・ 19
(4) 住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくり	・・・ 25
(5) 個別援助活動の充実と市社協の基盤づくり	・・・ 30

1. 総括

私たちを取り巻く社会的、経済的環境は大きく変化しています。

世帯の構造は、高齢化や生涯未婚率の上昇に伴う単身世帯の増加、ひとり親世帯の増加など、生活保障の一部を担ってきた家族の機能に変化が見られています。また、血縁、地縁、社縁という旧来の共同体機能も低下し、少子高齢化や今後急速に進む人口減少などの人口動態の変化、経済のグローバル化に伴う経済環境の変化などにより、個人や世帯が抱える生きづらさやリスクが複雑化・多様化し、社会的関係性の貧困化、生活困窮を始めとする複合的な課題や、人生を通じて複雑化した課題の顕在化、雇用を通じた生活保障の機能低下（就職氷河期世代の就職困難、不安定雇用）などの変化が見られています。

今や、公的な制度や分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を越えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる包括的なコミュニティ、地域や社会を創ると言う「我が事・丸ごと、地域共生社会」の実現が重要となっています。

こうした中、令和元年度は、3つの重点事業を掲げ、地域住民とともに活動を進めました。

1. 住民が主体となって進める地域福祉活動推進の支援

- ・高齢者等を地域で支える仕組みづくりを考える「学区医療福祉を考える会議」を含め、14学区に約500回地域に出向き、住民の皆様とともに地域の課題を共有し、住民のよきパートナーとして、その解決に向けた取り組みを進めました。
- ・頑張る学区を応援する「地域のふれあいの場づくり助成事業」を実施し、常盤、笠縫、笠縫東の各学区の福祉の土壌づくり・人づくり活動を支援しました。

2. ボランティアセンターの機能強化

- ・第2回福祉教養大学の開催や自らが企画し活動をする大学院(課題解決型ゼミナール)を開設し、担い手の育成に努めました。残念ながら、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から大学の卒業式、大学院生の企画事業は、中止となりました。
- ・防災とボランティア週間活動の一環として1月の最終土曜日に実施しています草津市災害ボランティアセンター運営訓練には、社協関係団体をはじめ、まちづくり協議会関係者や民生委員児童委員など94名の参加をいただき、センター開設の段取りやボランティア派遣の手順確認などを行いました。
- ・草津青年会議所とは、災害ボランティアセンター運営にかかる三者協定（草津市・市社協・JC）を締結し、いざという時に応援をいただける体制の強化に努めました。
- ・高齢者施設や町内会での敬老会等を中心に、ボランティアの活躍の場の提供に努めました。
- ・草津青年会議所、草津市コミュニティ事業団と、ロクハ公園等を会場に「緑波祭」を開催し、約1万人の来場者を迎えました。この中で、多くの学生や市民の協力を得て、第8回ボランティアフェスティバルを同時開催しました。

3. 身近な居場所づくりの推進

- ・身近な高齢者の居場所である地域サロンは、157か所となり、第11回地域サロン交流会には多くの活動者に参加いただき、情報交換を通じて、高齢者の見守り活動の一環として、サロン活動を継続することの大切さを共に共有しました。
- ・食をテーマとした住民交流の地域づくり活動には、春夏秋冬の4回のフードドライブを中心に、協

力いただいた、米約1,400kg、乾物等約2,600品目の市民の善意を届けさせていただきました。

- ・歳末地域たすけあい募金の配分を受け、年末年始の子ども等を中心とした「餅つき大会」や「豚汁会」を開催される学区に助成支援をしました。

その他、心配ごと相談や生活福祉資金・生活つなぎ資金の貸付事業、地域福祉権利擁護事業等の個別支援事業をはじめ、学区社協を中心に住民とともに地域福祉活動の取り組みを進めてきました。

また、日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局、滋賀県共同募金会草津市共同募金委員会事務局、草津市民生委員児童委員協議会事務局として各機関の活動を支援しました。

しかしながら、地域サロンをはじめ多くの地域の福祉活動や市社協事業の一部が、令和2年2月頃から新型コロナウイルス感染症の拡大防止の関係から開催中止をせざるを得なくなり、支えあい、助け合い、生きがいつくりの地域福祉活動が停止することとなりました。一方、3月25日から、新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少等でお困りの世帯に、生活資金の緊急貸付をする業務を開始することとなり、新年度の活動内容を大幅に見直す必要が生じました。

地域福祉活動の一日も早い再開と個別支援事業も充実を図りながら「こころ温かく支えあい 住みつづけたい 福祉のまち・くさつ」の実現に向けて、今後もより一層の取り組みを進めてまいります。



緑波祭 (2019.10.5)

2. 事業報告

(1) 地域福祉活動の周知・啓発

見える社協、魅せる社協活動をめざして広報し、住民への啓発を行い、地域の福祉力アップを図ります。

● 広報紙「社協くさつ」発行事業

2,201,012 円

市社協広報紙「社協くさつ」を年4回発行し、市社協事業や住民の福祉活動の啓発に努めました。

- 令和元年6月15日号（No. 161）…草津市福祉教養大学、くさつ通信、令和元年度事業計画・【発行部数 58,550部】 予算、平成30年度決算、フードバンク事業、福祉パズル、寄附付き名刺、心配ごと相談所、もしも電話ご案内、はーいボランティアセンターです！等
- 令和元年9月15日号（No. 162）…キラキラキッチンやまだっ子取材、第8回ボランティアフェスティバル、はーいボランティアセンターです！、フードバンク事業、くさつ通信、共同募金思いやりの箱、市社協新役員のお知らせ、障害児者リフレッシュ事業、賛助会員の紹介、生活支援員募集、災害時三者協定、もしも電話ご案内、心配ごと相談所等
- 令和元年11月1日号（No. 163）…草津市福祉教養大学、第8回ボランティアフェスティバル、はーいボランティアセンターです！、災害ボランティアセンター運営訓練のお知らせ、地域サロン交流会、くさつ通信、フードバンク事業、歳末たすけあい見舞金について、共同募金、もしも電話ご案内、心配ごと相談所、福祉パズル、地域福祉権利擁護事業等
- 令和2年3月15日号（No. 164）…災害ボランティアセンター運営訓練、はーいボランティアセンターです！、地域サロン交流会、賛助会員の紹介、フードバンク事業、社会福祉功労者表彰、福祉パズル、草津市福祉教養大学、くさつ通信、義援金・共同募金実績、草津市赤十字奉仕団員募集、共同募金ありがとうメッセージ等

● ホームページ運営事業

324,500 円

ホームページの更新やトピックス枠にて、フードバンクや寄附金等の最新情報を発信し、募集啓発と実績の報告に努めました。

- 平成31年4月1日から令和2年3月31日までのホームページ閲覧状況
アクセス総数…50,099件

● 社会福祉功労者表彰式典

338,773 円

長年活躍している地域福祉活動者やボランティアに対してその功績を称え表彰し、活動を応援するとともに、社会福祉の向上のため寄附された個人や団体に感謝の意を表しました。

また「滋賀県共同募金会会長顕彰」として、長年にわたり共同募金運動の推進に尽力され、本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された個人や団体の表彰と、赤い羽根共同募金運動に多額のご寄附をされた法人に感謝の意を表しました。

開催日：令和元年11月16日（土）

場 所：草津総合病院 9階あおばなホール

【社会福祉功労者表彰】

	内 容	被表彰者
表彰状	民生委員児童委員として9年以上地域福祉活動の推進に寄与された方々	33人
	長年にわたり社会福祉協議会、社会福祉施設および民間社会福祉事業関係団体等の役員として地域福祉活動の推進に尽力された方々	3人
	長年にわたり率先して活動を行い、社会福祉活動の推進に寄与した者	15人
	長年にわたり社会福祉活動の推進に寄与した団体	7団体
	福祉活動推進校として授業および活動等に尽力された学校	8校
	長年にわたり社会福祉の向上のため多額の寄附をいただいた団体	2団体
感謝状	社会福祉の向上のため寄附をいただいた方々	5人
	社会福祉の向上のため寄附をいただいた団体	19団体
	社会福祉活動に積極的に協力され、その功績顕著な方々	3人

【滋賀県共同募金会会長顕彰】

	内 容	被表彰者
表彰状	長年にわたり共同募金運動の推進に尽力され本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された団体	1団体
感謝状	赤い羽根共同募金運動の趣旨に賛同して多額の寄附をされ本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された団体	1団体
	赤い羽根共同募金運動の趣旨に賛同して毎年寄附をされ本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された法人	1団体

●近所力アップ講座（出前講座）

660円

地域に職員が出向き、より身近な福祉の専門職として、住民同士のつながりや地域福祉活動の大切さを伝えました。

合計参加者：55名

No.	学区	開催日	内容	依頼団体	参加者
1	矢倉	令和元年7月3日(水)	「地域を知るすごろくゲーム」	馬池町自治会	約30名
2	志津	令和元年10月19日(土)	「見守りあえる地域へ 向こう三軒お互いさま」	岡本町内会	約25名

● パワフル交流・市民の日への参加

第20回パワフル交流・市民の日FINALの中で、活動団体としてブースを設け、社協事業の啓発を行いました。今年度は、例年の学区民生委員児童委員協議会の活動紹介パネルに加え、収集ボランティア啓発やフードバンク事業、共同募金運動の啓発などを、パネル展示やチラシの配布を通して行い、多くの方々に日頃の身近な地域での支え合いの姿を「見える化」することにより、地域福祉活動の周知・啓発を行いました。また、参加団体との交流に努めました。

開催日：令和元年11月30日（土）10時00分～15時

場 所：草津市立まちづくりセンター

- 内 容：・収集ボランティア、フードバンク、災害ボランティアセンター等啓発
- ・草津市赤十字奉仕団啓発
 - ・赤い羽根共同募金箱設置（一般募金 612円）
 - ・義援金箱設置（令和元年8月豪雨災害義援金 170円）
（令和元年台風第15号千葉県災害義援金 126円）
（令和元年台風第19号災害義援金 577円）
 - ・市社協キャラクターふくちゃん登場
 - ・各学区民生委員児童委員協議会活動紹介（市民児協主催によるパネル展示）

対 象：市内活動団体、市民

参加者：350人

● 「ふくちゃん」啓発

1,490円

ボランティアフェスティバルや福祉を考える市民のつどいをはじめ、市内で行われるイベントにふくちゃんを派遣し、草津市内の地域福祉活動について、啓発を行いました。

No.	実施日	内容	依頼団体
1	令和元年 5月19日（日）	西方寺マルシェ	西方寺
2	令和元年 9月16日（月）	敬老会	老上学区社会福祉協議会
3	令和元年 10月5日（土）	第8回ボランティアフェスティバル	—
4	令和元年 10月19日（土）	合同フェスタ	南笠東学区社会福祉協議会
5	令和元年 10月26日（土）	山田ふれあいまつり	山田学区社会福祉協議会
6	令和元年 11月30日（土）	パワフル交流・市民の日	—
7	平成30年 12月3日（火）	クリスマス会	志津地区民生委員児童委員協議会

● 「広報くさつ」点字版作成・配付事業

277,000円

視覚障害があり、広報「くさつ」点字版の配付を希望される方に、毎月1日号を基本に点訳し、郵送しました。点訳は草津点字グループ「あゆみ会」にお願いしました。

配付対象	配付先人数等	配付数
視覚障害者	3人	36部
障害者福祉センター	1カ所	12部

●社会を明るくする運動

114,000 円

法務省の主唱により、すべての国民が犯罪防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築く目的で7月1日の街頭啓発を皮切りに関係機関・団体と一体となり、作文コンテストをはじめ各種運動を推進しました。

協力団体：草津市、草津保護区草津支部保護司会、草津市青少年育成市民会議、草津市更生保護女性会、草津市BBS会、草津警察署生活安全課、草津市青少年補導委員会、草津市教育委員会、草津市学区・区社会福祉協議会会長会

○街頭啓発

開催日：令和元年7月1日（月）7時20分～8時30分

場 所：草津駅、南草津駅

内 容：啓発物品配付と運動啓発の声掛け

対 象：市民

参加者：120人

○作文コンテスト

応募校：2校（玉川中学校、老上西小学校）

応募作品数：81点

(2) 地域福祉力の向上

地域福祉力の向上と住民主体の地域福祉活動の発展のため、その基礎となる人づくり、またその人を支援する体制をつくります。

●福祉活動推進員(市民コーディネーター)育成講座

637,693 円

地域の担い手不足と言われている現状を打破し、地域福祉活動者のすそ野を広げることを目的に、これまでの講座内容をリニューアルした「福祉教養大学」を実施しました。今年度は「あなたはどうか生きる そして どう生きる」をテーマに、幅広い分野の講師に講演いただき、今まで福祉に興味がなかった方にも多くご参加いただきました。また、5講座全てを受講された方々には、卒業証書を授与し、今後の活動の励みにしていただきました。

さらに、今年度からは、前年度の5講座全てを受講された方がさらに活動を実践していく場として、大学院を設立しました。今年度は自分たちにできる活動の第1歩として「ボランティアグループふくちゃん」を立上げ、子育て支援として、子どもたちを対象にした福祉バスツアーを企画しました。実施は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となりました。

【第2回草津市福祉教養大学 基礎課程】

延べ参加者：310人

	開催日	内容・講師	参加者
入学式 第1講座	令和元年 8月19日（月）	写真が語るいのちのバトンリレー ・講師：写真家・ジャーナリスト 國森康弘さん	51人
第2講座	令和元年 9月12日（木）	老いを支える医師からみた人生観 ・講師： おぐまファミリークリニック院長 小熊哲也さん ・コーディネーター 草津市老人クラブ連合会事務局 小枝美代子さん	57人

第3講座	令和元年 10月5日(土)	様な生き様～あなたも何かできるかもしれない～ ・コーディネーター 草津市社会福祉協議会 常務理事 奥村嘉英 ・講師 社会福祉法人こなんSSN 福島孝一さん NPO法人ディフェンス理事 宮下千代美さん 西方寺副住職・介護福祉士 牧哲玄さん 便利屋オタ助代表 田淵翔司さん	84人
第4講座	令和元年 11月21日(木)	一部「地域共生社会の実現に向けた思い」 ・講師：厚生労働省社会・援護局地域福祉課 玉置隼人さん 二部「健幸に生き抜く力」 ・講師：浜本内科医院院長 浜本徹さん	74人
第5講座	令和2年 2月13日(木)	地域と共に生きる ・講師：あいとうふくしモール代表 太田清蔵さん	44人
卒業式 謝恩会	令和2年 3月19日(木)	新型コロナウイルス感染防止のため中止	

* 第2回草津市福祉教養大学卒業生 35人

【第2回草津市福祉教養大学 大学院】

	開催日	内容	参加者
Practice 1	令和元年 5月29日(水)	草津市の現状と地域福祉活動を知ろう	11人
Practice 2	令和元年 6月25日(火)	「感じる」「聞く」「実感」「知る」を一挙に経験しよう フィールドワーク 研修先：老上学区カフェほっこり、草津学区立ち寄りカフェ ゆかい家、志津南学区ふれあいハウス絆、笠縫学区ふれ愛 キッチン、山田学区キラキラキッチンやまだっ子	13人
Practice 3	令和元年 7月30日(火)	「やってみたい活動」ワークショップと実践の準備をしよう	9人
Practice 4 (1)	令和元年 8月30日(金)	具体的な活動を考えよう	8人
Practice 4 (2)	令和元年 9月27日(金)	具体的な活動を企画しよう	8人
Practice 4 (3)	令和元年 10月17日(木)	バスツアーに向けて準備をしよう	7人
Practice 4 (4)	令和元年 11月27日(水)	バスツアーの確認をしよう・実践発表会の準備をしよう	5人
Practice 4 (5)	令和元年 12月9日(月)	実践発表会の役割と内容の確認をしよう	8人
Practice 4 (6)	令和2年 1月14日(火)	実践発表会の打ち合わせをしよう	6人
Practice 5 (1)	令和2年 3月16日(月)	バスツアー延期に係る協議、来年度の在り方の検討	7人

* 3月27日(金)子どもが草津市を愛し、住み続けたい子どもの居場所「自分と家庭のウニコはどうなるの？」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期

* 第1回草津市福祉教養大学大学院卒業生 4人

●福祉委員設置促進

19,000 円

「福祉委員の手引き」を改訂し、手引きをもとに学区社協との協働により学習会を開催し、福祉委員活動が効果的に行われるよう支援しました。また、福祉委員活動をより円滑に進められるよう、希望される学区に市社協会長と学区社協会長の連名で委嘱状を交付しました。

【研修支援】

合計参加者：159人

No.	学区	開催日	内容	依頼団体	参加者
1	笠縫	令和元年 5月24日(金)	福祉委員活動について	笠縫学区社会福祉協議会	53人
2	老上	令和元年 6月4日(火)	・福祉委員について ・他学区の福祉委員の状況	老上学区社会福祉委員会	28人
3	山田	令和元年 6月14日(金)	福祉委員活動について	山田学区社会福祉協議会	22人
4	草津	令和元年 6月17日(月)	福祉委員活動について	草津学区社会福祉協議会	56人

【委嘱状交付学区】4学区 合計169人

- ・志津学区 27人
- ・草津学区 56人
- ・老上西学区 33人
- ・笠縫学区 53人

●介護予防サポーターポイント制度

3,116,496 円

高齢者の社会参加、いきがづくり活動を促進し、介護予防の普及啓発を図るとともに、介護予防サポーター自身の介護予防を図る目的で、草津市が平成28年度から実施している事業を受託し、市と協働して実施しました。

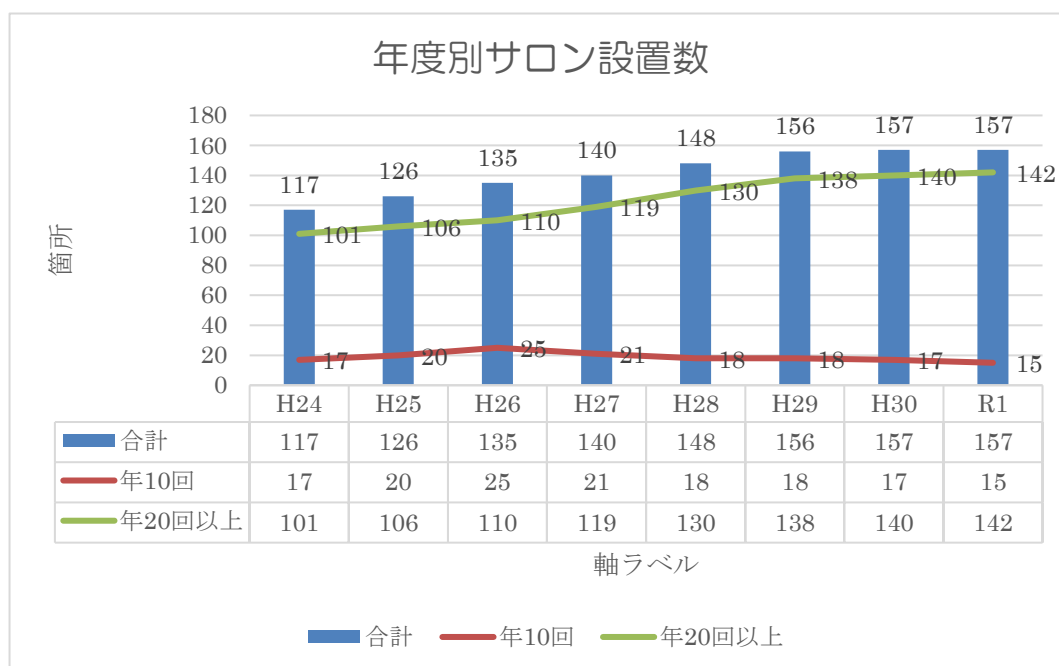
- ・介護予防サポーター登録者数：59人
- ・介護予防サポーター付与ポイント総数：2,433ポイント
(平成31年1月1日～12月31日までの活動を対象)

●地域サロン活動支援

9,677,000 円

地域サロン活動を通して、高齢者の見守り活動を推進し、身近な場所で支え合う関係づくりを目的として、高齢者の介護予防と自立を促進するためにサロン活動の拡充に努めました。

- ・新たに設置された地域サロン 2団体
- ・解散した地域サロン 2団体
- ・運営相談並びに情報提供 142件
- ・地域サロン訪問 7件
- ・地域サロンとボランティアの需給調整 31件



【地域サロン参加者・活動者状況】

	令和元年度	平成30年度
年間参加者延べ人数	75,839人	83,850人
年間運営ボランティア数	20,774人	22,258人

【学区別地域サロン開催状況】

①年間20回以上開催団体

学区・区	年間20回以上開催団体	運営ボランティア数	参加者(延人数)
志津	13団体	1,570人	7,733人
志津南	8団体	1,448人	8,444人
草津	10団体	1,772人	6,251人
矢倉	11団体	1,644人	5,737人
大路	9団体	668人	3,841人
渋川	13団体	1,729人	5,283人
老上	6団体	805人	4,307人
老上西	6団体	663人	3,964人
玉川	9団体	2,488人	5,634人
南笠東	5団体	611人	2,539人
山田	16団体	2,568人	7,017人
笠縫	15団体	2,053人	7,372人
笠縫東	9団体	920人	2,101人
常盤	12団体	1,319人	3,402人
計	142団体	20,258人	73,625人

②年間10回以上開催団体

学区・区	年間10回以上開催団体	運営ボランティア数	参加者（延人数）
志津	0団体	0人	0人
志津南	1団体	12人	62人
草津	0団体	0人	0人
矢倉	0団体	0人	0人
大 路	1団体	13人	87人
渋 川	0団体	0人	0人
老 上	1団体	24人	99人
老上西	1団体	45人	427人
玉 川	1団体	40人	221人
南笠東	1団体	71人	223人
山 田	2団体	75人	337人
笠 縫	2団体	79人	279人
笠縫東	1団体	50人	95人
常 盤	4団体	107人	384人
計	15団体	516人	2,214人

●地域サロン活動備品貸出

36,000円

地域サロンの活動内容の充実や、地域サロンの啓発を目的としてサロン活動備品の貸出をしました。

地域サロン貸出備品	貸出数
回想かるた	6件
唱歌カルタ	6件
花おりおりかるた	1件
思い出かるたⅡⅢ	9件
昭和スターかるた	2件
美空ひばりかるた	2件
四字熟語合わせ	3件
十二支ビンゴ	3件
しりとりブロックくずし	1件
ととあわせ	2件
麻雀セット	37件
カロム	17件
輪投げ	38件
フックボールボードセット	17件
トリコロキューブ	3件
新十扇	3件
リズム楽器セット	3件
パスタマシン	8件
ビデオ・DVD	79件

介護予防貸出備品	貸出数
大型バランスゲーム	16件
低床型玉入れ（1色1台）	86件
ドレミパイプ	1件
マンカラパーティー	11件
シャッフル&ゴルフセット	10件
足踏みマット	16件
ニューカラーボーリング	23件
超飛びジャンボ黒ひげ危機一発	24件
わなげ9&Q	14件

●地域サロン交流会

132,260円

今年で11年目を迎える地域サロン交流会では、10テーブルに分かれて、市社協考案ワークショップ「つながりで越えちゃったゲーム」を実施し、全員で語り合い共感の輪を広げ、繋がることの大切さ、助け合うことの大切さを学び、今後のサロン活動の継続と充実を目的に開催しました。

開催日：令和2年2月14日（金）13：30～15：30

場 所：草津市立まちづくりセンター 3階

内 容：草津市社協考案「つながりで越えちゃったゲーム」

グループ発表・結果発表・まとめ

協力：国際ボランティア学生協会龍谷大学瀬田クラブ

玉川地域包括支援センター、草津市役所長寿いきがい課、

草津市役所地域保健課、草津市役所健康福祉政策課

参加サロン：49サロン 91人

●とく得バスツアー

重点2

（草津市コミュニティ事業団との連携事業）

425,040円

中間支援組織との協力・連携の一環として、地域の自治会館まで送迎し、「ロクハ荘」や「水生植物公園みずの森」を活用しながら外出機会を増やすことを目的としたバスツアーを実施し、地域サロン活動のさらなる充実と活性化に努めました。

○第1回から6回 19サロン、参加者数：204人

第1回開催日：令和元年7月11日（木）

場 所：水生植物公園みずの森

サロン：にこにこ会（志津）

16人

ひばりサロン（笠縫）

17人

計33人

内 容：みずの森散策

うちわ作り

ハスの話（園長）

音楽ボランティア「徒然」演奏（一緒に歌いましょう）

○第2回開催日：令和元年8月29日（木）

場 所：水生植物公園みずの森

サロン：つつみ元気会（志津）

6人

いろは会 (矢倉)	5人	
シニアの広場雅 (南笠東)	17人	<u>計28人</u>
内 容 : みずの森散策		
うちわ作り		
ハスの話 (園長)		
音楽ボランティア「徒然」演奏 (一緒に歌いましょう)		

○第3回開催日：令和元年9月12日 (木)

場 所 : 水生植物公園みずの森		
サロン : 岡本西サロン友の会 (志津南)	5人	
中出しなやか会 (渋川)	10人	
あがつき会 (玉川)	10人	
ほっとローレル	4人	<u>計29人</u>
内 容 : みずの森散策		
うちわ作り		
ハスの話 (園長)		
音楽ボランティア「徒然」演奏 (一緒に歌いましょう)		

○第4回開催日：令和元年10月11日 (金)

場 所 : 長寿の郷 ロクハ荘		
サロン : 岡本いきいきサロン (志津)	17人	
西一さわやかクラブ	9人	
RO-KO バンドサロン	9人	<u>計35人</u>
内 容 : ロクハ荘出迎え講座		
音楽ボランティア「徒然」演奏 (一緒に歌いましょう)		
小物づくり (松ぼっくりでフクロウ)		

○第5回開催日：令和元年10月18日 (金)

場 所 : 長寿の郷 ロクハ荘		
サロン : きらきらサロン (草津)	2人	
ミックス (矢倉)	15人	
ふれあい広場「鶴の会」(渋川)	7人	
野村いこいこ会	10人	<u>計34人</u>
内 容 : ロクハ荘出迎え講座		
音楽ボランティア「徒然」演奏 (一緒に歌いましょう)		
小物づくり (松ぼっくりでフクロウ)		

○第6回開催日：令和元年11月1日 (金)

場 所 : 長寿の郷 ロクハ荘		
サロン : 東草津おしゃべりサロン (草津)	10人	
新笠サロン (南笠東)	18人	
ほのぼのサークル喜楽会 (常盤)	17人	<u>計45人</u>
内 容 : ロクハ荘出迎え講座		

音楽ボランティア「徒然」演奏（一緒に歌いましょう）

小物づくり（松ぼっくりでフクロウ）

●地域支え合い運送支援

377,466 円

地域の活動団体が主体となって実施する移動困難者のボランティア運送支援事業を支援するため、活動者や、活動に関心のある市民を対象とした安全運転講習会を実施し、安全に事業運営していただけるよう努めました。

また、来年度から新たに事業展開を考えている学区に対し、資料の提供や立上げ支援などを随時行い、円滑に活動が進むよう支援しました。

○実施学区

- ・志津南学区（事業主体：志津南学区まちづくり協議会）
※平成26年9月より事業実施【ダイハツタントを貸与】
- ・山田学区（事業主体：山田学区社会福祉協議会）
※平成26年11月より事業実施【トヨタヴィッツを貸与】
- ・老上学区・老上西学区（事業主体：老上学区社会福祉協議会・老上西学区社会福祉協議会）
※平成30年4月より事業実施【ダイハツタントを貸与】

○事業実績

○安全運転講習

	志津南		山田		老上・老上西	
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
事業主体	志津南学区 まちづくり協議会		山田学区 社会福祉協議会		老上学区・老上西学区 社会福祉協議会	
実施主体	志津南学区 社会福祉協議会				老上送迎サポート	
年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
利用 登録者数	20人	22人	10人	20人	30人	20人
延べ 送迎人数	127人	188人	54人	134人	101人	97人
送迎 ボラ人数	6人	10人	3人	8人	10人	10人
送迎日数	89日	129日	32日	120日	101日	74日
走行距離	1,693km	2,392km	236km	1,366km	974km	969km
送迎先	近隣病院 診療所 まちづくり センター	近隣病院 診療所 福祉施設 歯医者 薬局 まちづくり センター	まちづくり センター	近隣商業施設 近隣病院 診療所 まちづくり センター	近隣商業施設 近隣病院	近隣商業施設 近隣病院

開催日：令和元年11月6日（水）

場 所：草津市社会福祉協議会大会議室

- 内 容：・講話「あなたの運転なくて七癖～事故に潜む危険要因を探る～」
 講師：あいおいニッセイ同和損保株式会社 木村正さん・山本勇一さん
 ・地域支え合い運送、福祉車両貸出事業について
 ・ボランティア同士の交流会

対象者：福祉車両貸出事業登録運転ボランティア
 地域支え合い運送支援事業実施学区の送迎ボランティア
 福祉車両貸出事業や地域支え合い運送支援事業に関心のある市民
 参加者：20人

●福祉車両貸出

784,831 円

家庭の事情や経済・身体状況などにより病院などへの送迎が必要な方に対して福祉車両を貸出すことにより、登録いただいている送迎ボランティアに送迎を依頼し、安心・安定した生活を送ることができるよう支援しました。

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
タント1号	54回	46回	91回
タント2号	152回	140回	127回

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
送迎ボランティア数	13人	11人	11人
送迎依頼者数	8人	6人	10人
送迎対応件数	206回	186回	218回

●独居高齢者電話訪問

69,235 円

65歳以上の一人暮らしや昼間独居の高齢者で話し相手を希望する方に、傾聴ボランティアが電話訪問することで孤立や孤独に陥らないように民生委員・児童委員と連携して支援しました。

利用者：10人 傾聴ボランティア：11人

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
電話訪問回数	191回	174回	146回	137回	150回

○傾聴ボランティア連絡会

傾聴ボランティアの情報交換やスキルアップの場として、毎月第2金曜日に傾聴ボランティア連絡会を開催し、精神保健福祉士の助言をうけ、傾聴ボランティアの役割やより良い聴き手になれるよう研鑽を積みました。

●草津フードバンクセンター設置

重点4

202,000 円

生活に困窮している世帯や住民同士の支え合い活動を実施する団体に対して、草津フードバンクセンターに集まった食糧を無償で提供し、地域福祉活動の推進に努めました。また、企業や個人にとっては、フードバンク事業への協力が社会貢献や地域福祉活動への参加・協力になるという善意の循環システムの構築を図りました。また、今年度はより多くの方にフードバンク・フードドライブの活動を周知し、推進していくために、フードドライブの時期に公共交通機関のアクセスの良い場所に食品集積所、「移動フードドライブ」を3カ所設置しました。さらに、フードバンクセンター協力ボランティアを立ち上げ、5人のボランティア活動者で活動を開始することができました。

寄付いただいた食品は、以下の団体に受け渡しました。

○子どもたちなどを対象にしている団体への支援（7団体）

- ・ 矢倉学区社会福祉協議会にこにこレストラン
- ・ 笠縫学区民生委員児童委員協議会ふれ愛キッチン
- ・ 山田学区社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会キラキラキッチンやまだっ子
- ・ ボランティアグループ I. キャンバス 緑のはらぺっこ食堂
- ・ 多文化共生支援センター
- ・ NPO法人宅老所 心
- ・ NPO法人やんちゃ寺

○学区社会福祉協議会への支援（6団体）

- ・ 草津学区社会福祉協議会
- ・ 志津南学区社会福祉協議会
- ・ 老上学区社会福祉協議会
- ・ 渋川学区社会福祉協議会
- ・ 老上西学区社会福祉協議会
- ・ 南笠東学区社会福祉協議会

○障害者施設（8団体）

- ・ NPO法人滋賀県社会就労事業振興センター就労継続支援B型事業所 J A L A N
- ・ NPO法人滋賀県社会就労事業振興センター共同生活援助事業所 R U M A H R U M A H
- ・ 滋賀県立むれやま荘
- ・ 自立訓練（生活訓練）事業所フリータイム
- ・ 社会福祉法人にぎやか会 にぎやか工房
- ・ 社会福祉法人こなん S S N 就労継続支援B型事業所 こなん S S N
- ・ 社会福祉法人こなん S S N 就労継続支援B型事業所 シエスタ
- ・ 社会福祉法人若竹会 ワークステーションわかたけ

○地域での福祉活動をされている団体（4団体）

- ・ 草津市赤十字奉仕団
- ・ フードバンク滋賀（生活困窮世帯への支援活動）
- ・ 山寺町内会（山寺町民のつどい）
- ・ あそぼ一会（地域サロン）

○生活に困窮されている世帯への緊急食糧支援

（移動フードドライブ）

	場 所	時 期
JR 草津駅付近	市立まちづくりセンター (市コミュニティ事業団)	秋のフードドライブ期間 10/7～10/15
JR 南草津付近	カフェほっこり (老上まちづくりセンター内)	冬のフードドライブ期間 11/20
草津市役所	草津市役所2階 (健康福祉政策課内)	秋のフードドライブ期間 10/15～10/31
		冬のフードドライブ期間 11/18～11/29

(寄附物品、寄附者一覧)

期間		第1回 春	第2回 夏	第3回 秋	第4回 冬	第5回 冬以降	第1～5回 合計
		3/8～4/19	5/13～7/29	8/9～11/1	11/5～11/30	12/1～3/30	
寄附物品	米	1 1 5 kg	2 5 1 kg	8 4 8 kg	1 4 1 kg	1 3 1 kg	1, 4 8 6 kg
	米以外	1 7 3 品	6 3 6 品	5 4 4 品	2 3 1 品	1, 0 8 1 品	2, 6 6 5 品
寄附者 ※移動フードドライブは含まない	団体	0 件	4 件	4 件	1 件	5 件	1 4 件
	個人	1 3 件	2 4 件	3 9 件	1 2 件	1 3 件	1 0 1 件
	合計	1 3 件	2 8 件	4 3 件	1 3 件	1 8 件	1 1 5 件

(寄附食品配分一覧)

米:kg 米以外:品

	米	米以外										米以外 合計
		乾麺	乾物	缶詰	レトルト	食用油	ルー	調味料	菓子	飲料	その他	
子どもたちなどを対象にしている団体	290	22	13	4	9	18	33	87	45	38	24	293
学区社会福祉協議会の活動拠点、社会福祉などへの支援	216	21	40	34	0	20	10	115	55	23	99	417
障害者施設への支援	555	118	104	32	110	21	68	151	123	179	196	1, 102
地域での福祉活動をされている団体	289	28	26	9	29	2	10	43	20	9	148	324
生活に困窮されている世帯への緊急食糧支援	88	62	21	113	76	0	0	17	89	7	107	492
期限切れまたは状態が悪いため廃棄	30	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	1, 468	251	204	192	224	61	121	413	333	256	574	2, 629
令和元年度総寄附数	1, 486	256	207	199	229	64	121	415	336	264	574	2,665
令和2年に繰り越し	18	5	3	7	5	3	0	2	3	8	0	36

●地域のふれあいの場づくり助成

重点1

300,000円

住み慣れた地域で安心して暮らしてつづけられるための活動している学区社協の、新たな地域福祉活動の立ち上げ、既存の地域福祉活動の拡大・拡充を支援することを目的として、「地域のふれあいの場づくり助成事業」を実施しました。採択にあたっては、草津市地域福祉活動計画策定委員会で助成先を決定しました。

○申請学区…3学区

○採択学区…3学区

- ・笠縫学区：地域の福祉活動担い手育成事業
- ・笠縫東学区：ふれあいサロン もちつき大会
- ・常盤学区：「ときわの健康づくり」推進事業

●関係団体への支援

200,000円

関係団体が実施する事業に対し助成を行い、活動を支援しました。

○寝たきり・認知症予防助成（草津市老人クラブ連合会・72,000円）

高齢者を対象とする健康増進事業に対する助成により活動を支援

○障害児者介護者リフレッシュ支援（肢体不自由児者父母の会・40,000円）

肢体不自由児者や知的障害児者の家族の心身リフレッシュと介護者同士の交流・情報交換への支援

○知的障害者社会参加自立支援（草津手をつなぐ育成会・40,000円）

共同作業所で働く知的障害者の社会参加を促す交流や余暇活動への支援

○中途視覚障害者外出支援（草津市視覚障害者協会・8,000円）

外出歩行訓練事業や交流会事業等への支援

○いきいきふれあい大運動会助成（特定非営利活動法人草津市心身障害児者連絡協議会・40,000円）

いきいきふれあい大運動会事業へ助成し、活動を支援

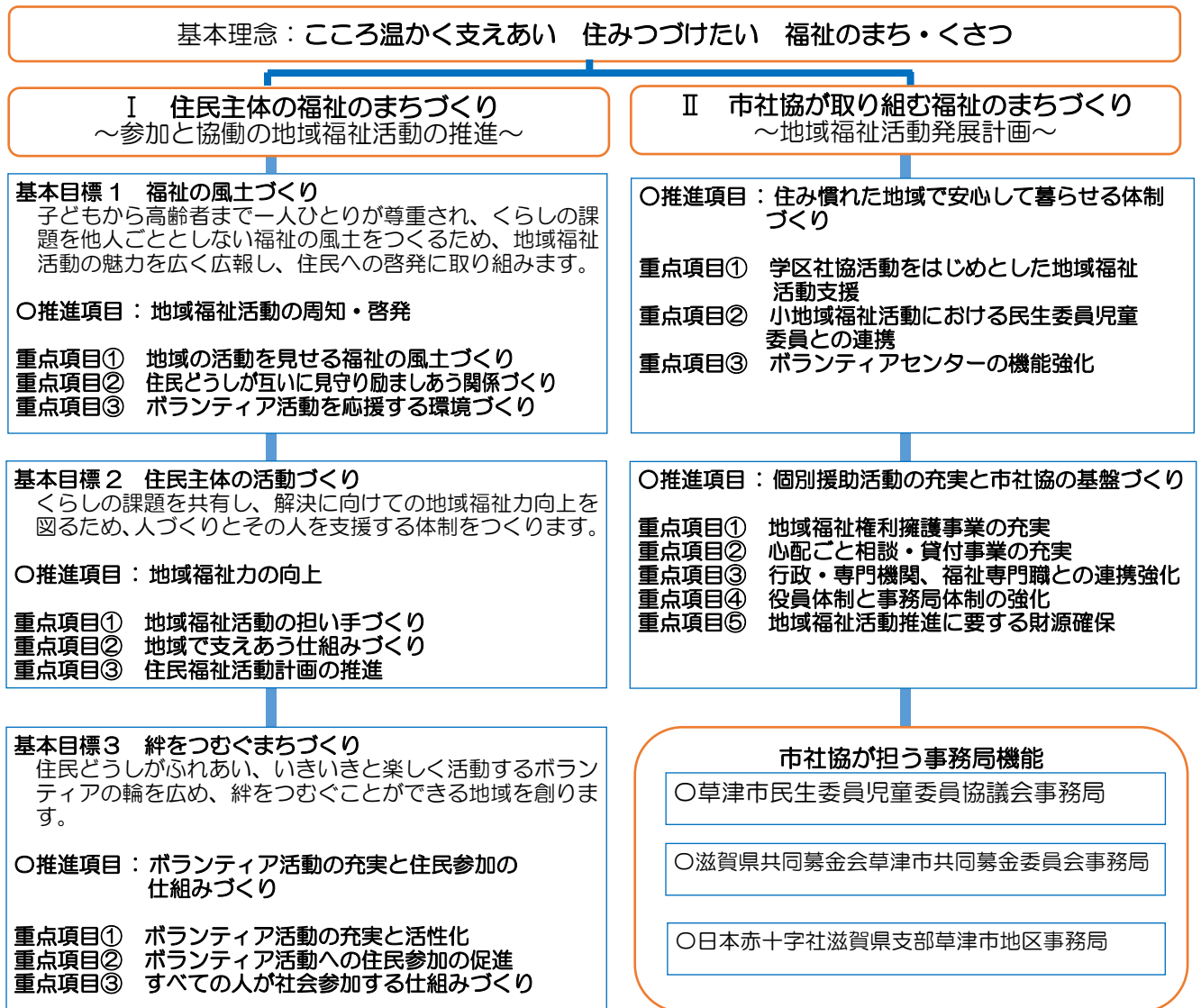
●福祉機器リサイクル（貸出事業）

143,000円

寝たきりや病気・怪我などで必要とされる方の便宜を図るため、不要になった福祉用具のリサイクル事業を実施し、3か月を基準として最長6か月以内の期間で福祉用具を貸出しました。

貸出備品	令和元年度	平成30年度	平成29年度
車椅子	162回	162回	171回
杖	3回	6回	3回

<第3次草津市地域福祉活動計画 体系図>



(3) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動するボランティアの輪を広め、絆をつむぐことができる地域をつくりまします。

● ボランティアフェスティバル

843,984 円

ボランティアのきっかけづくりやボランティア同士の交流を目的とした第8回ボランティアフェスティバルを、当年度は、緑化フェア、ロクハ感謝祭（草津市コミュニティ事業団）、SO-AI フェスティバル（草津青年会議所）との合同開催とする「緑波祭」を開催しました。

合同で実施したことで、新たな人、団体とのつながりづくりを築き、より多くの人たちに参加していただきました。

開催日：令和元年10月5日（土）

場 所：ロクハ公園・ロクハ荘

内 容

- ・「草津市福祉教養大学第三講座オープンキャンパス」

多様な生き様～あなたも何かできるかもしれない～

講師：社会福祉法人こなんSSN 福島孝一さん

NPO法人ディフェンス理事 宮下千代美さん

西方寺副住職・介護福祉士 牧哲玄さん

便利屋オタ助代表 田淵翔司さん

- ・かづきれいこのリハビリメイク

- ・健幸の部屋 協力：アロマハンドマッサージ あろまーる

はり・きゅう・あんま・指圧体験 田原一樹さん、宮本成生さん

地域サロン備品体験 一心たすけ

ロクハ荘カラオケ機器

- ・スヌーズレンの部屋 協力：コスインターナショナル

- ・ふくちゃんキッチン 協力：小野山麺くいの会、山田ひかるさん

- ・バルーンアート 協力：草津バルーンアートふうせん

- ・フードバンク

- ・収集ボランティア

- ・ガチャガチャで共同募金

- ・外ブース

出店者：総務省行政相談（きくみみ滋賀）/草津市赤十字奉仕団/草津市老人クラブ連合会

ワークパートナーきらら/ワークパートナーわかたけ/草津市立まちづくりセンター

鳩が森麺の会/カレーダイニング Asian/有限会社一美牛乳/HAND MADE SWEETS KAORU

ベトナムレストランアンデップ/災害三者協定啓発ブース/草津市社会福祉協議会

出店店舗：ドローンスクールジャパン滋賀草津校/ OFFICE RYU/モンカジ/みはし屋/蛸薫

炙り屋あとり/心温家/増屋製氷/草津青友会/川北精肉店/おかんのめし

Bar Adonis（アドニス）/草津青年会議/CHIRIRI 草津店/麦笑草津店/南洋軒

生タピオカ専門店茶々/レモネード専門店#GOODYKYOTO

対 象：市民

参加者：約12,000人

運営ボランティア：73人

●災害ボランティアセンター 重点3

92,894円

草津青年会議所の若い力と地の利を最大限に活かし、災害時により効果的な被災地支援活動を行うため、令和元年6月28日に草津市、草津青年会議所および草津市社会福祉協議会の三者で「災害時の被災者支援に関する相互協力協定」を締結しました。他機関の連携として、草津ライオンズクラブの会議や立命館大学のゼミにて災害ボランティアセンターについて出張で講演をしました。

また、1月には、さわやか保健センターで運営訓練を実施しました。今年度は、訓練検討委員会を2回開催し、班長会議を2回実施しました。班長会議では、災害訓練当日の各班班長が当日の動きや準備物、役割について検討・確認を行いました。班長については、災害ボランティアセンター運営協議会の構成団体から推薦を受け、草津市災害ボランティアコーディネーター会以外の方に担っていただきました。訓練後には、検討委員会と班長会議のメンバーで訓練の振り返りを行いました。新たな気づきも多くあり、次年度に活かせるものとなりました。

今年度より災害ボランティアセンターや被災現場等でボランティアとして活動する方の登録制度を始めました。今後、被災地支援情報の提供や研修の実施などを行っていきます。

【運営訓練本番】

開催日：令和2年1月25日（土）

場 所：さわやか保健センター

対 象：災害ボランティアセンター運営協議会構成団体等

参加者：100人

登録者：1人

【運営協議会】

	開催日	内容	参加者
第1回	令和元年 12月13日（金）	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練（案）について	16人

【運営訓練検討委員会】

	開催日	内容	参加者
第1回	令和元年 11月19日（火）	・委員長および副委員長の選任について ・災害時の被災者支援に関する相互協力協定について ・草津市災害ボランティアセンター運営訓練（案）について	7人
第2回	令和元年 12月4日（水）	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練（案）について ・草津市災害ボランティア登録制度（案）について	11人

【運営訓練班長会議】

	開催日	内容	参加者
第1回	令和元年 12月25日（水）	・令和元年度運営訓練について ・各班についての説明	11人
第2回	令和2年 1月16日（木）	・令和元年度運営訓練について ・各班の人員割り当てについて ・各班の準備物について ・一連の手続きのリハーサル	11人

【訓練振り返り会議】

	開催日	内容	参加者
第1回	令和2年 3月25日(水)	・令和元年度運営訓練の振り返りについて	8人

●移動ボランティアセンター

2,944円

今年度は、志津小学校と渋川小学校にて福祉教育についての講座や、収集ボランティアについての啓発を行いました。

○日時：令和元年10月24日（木）10：40～11：10

内容：車いすの操作方法について、収集ボランティア啓発

場所：志津小学校

○日時：令和元年11月30日（土）10：00～15：00

内容：収集ボランティアの啓発

場所：草津市立まちづくりセンター

○日時：令和2年1月30日（木）10：00～12：00

内容：「人にやさしいまちづくり学習」・車いすの操作方法について、収集ボランティア啓発

場所：渋川小学校

●収集ボランティア啓発

1,940円

身近にできるボランティア活動として広めるために、使用済み切手、カード、書き損じはがき、プルトップ、ペットボトルキャップなどの収集に努めました。また、使用済み切手については、裏面が封筒になるクラフトチラシを小・中学校や図書館、地域まちづくりセンター等に配布し、周知・啓発を図りました。

【収集実績】

○使用済み切手	104件
○使用済みカード	8件
○書き損じはがき	1件
○ペットボトルキャップ	254件 (1222.1kg)
○プルトップ	130件

【協力団体】

- 幼・保育園（6園）
- 学校（小学校5校、中学校2校、高校1校）
- 地域まちづくりセンター（8カ所）
- まちづくり協議会（1学区）
- 企業（21団体）
- ボランティアグループ（9団体）
- 地域サロン（4サロン）
- 市役所
- その他（19団体）等

【クラフトチラシの配布】

配布数 150枚

配布先 学区社協、民児協、パワフル交流、移動ボランティアセンター、まちづくりセンター、ボランティアグループ、地域サロン、企業、図書館、会館、賛助会員、小学校福祉教育 など

●福祉教育の推進・ボランティア体験教室

11,106円

ボランティア活動や地域福祉活動の理解を広げるため、ボランティア体験教室や、学校等の福祉教育を支援しました。

	実施回数	実施内容 内訳				
		車いす体験	点字体験	手話体験	盲導犬の理解	視覚障害者の理解
小学校	18	2	5	6	4	1
その他	4		1	3		
計	22	2	6	9	4	1

●ボランティア体験講座

6,110円

【包丁研ぎボランティア体験講座】

様々なボランティア活動の中のひとつとして、包丁研ぎボランティアの活動や魅力について、より多くの方に知ってもらえる機会となるよう、また、ボランティアの発掘・育成をめざし、講座を実施しました。

〈第1回〉

開催日：令和元年7月3日（水）

場 所：ロクハ荘 調理室

講 師：V・ハナミズキ 後長正信さん

参加者：5人

〈第2回〉

開催日：令和元年7月17日（水）

場 所：ロクハ荘 調理室

講 師：V・ハナミズキ 後長正信さん

参加者：8人

●ボランティアグループ・地域サロン活動リスト/出前ボランティア一覧作成

2,958円

【ボランティアグループ・地域サロン活動リスト】

ボランティアグループ・地域サロン間で情報を共有していただき、活動の活性化につなげることや、ボランティアの仲間作りに役立てていただくことを目的に作成しました。

ボランティアグループをジャンル別に掲載することで、どのようなグループが市内で活動されているか検索しやすくしました。また地域サロンは学区別に掲載し、市内のどこで活動されているかが分かるようにしました。

○2色刷り125部作成

○配付先：登録ボランティアグループ、地域サロン、学区社協、学区民児協、市役所、地域包括支援センター、草津市コミュニティ事業団、地域まちづくりセンター、図書館、隣保館等

【出前ボランティア一覧】

地域に出向いていただけるボランティアグループの紹介とボランティア活動の場の提供、活動の促進を目的として作成しました。

○表紙カラー319部作成

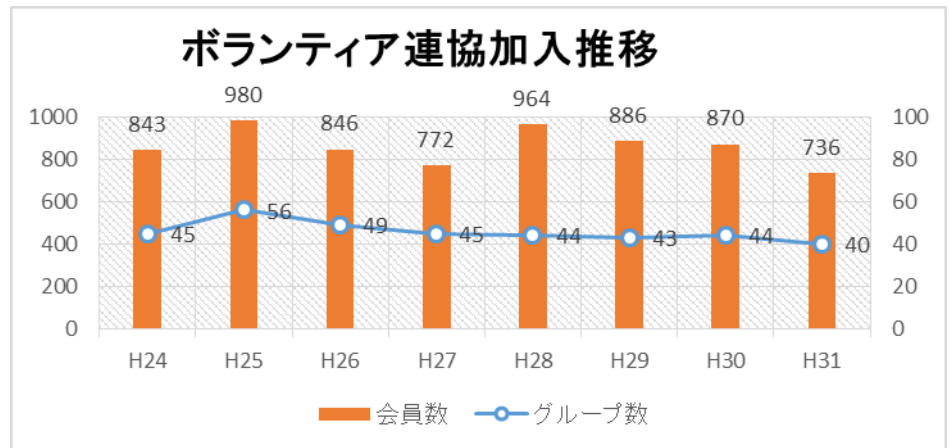
○配布先：施設、地域まちづくりセンター、図書館、隣保館、地域サロン、学区社協、学区民児協、幼・保育園、こども園、小・中学校

●市ボランティア連絡協議会活動助成

48,000円

ボランティアグループの横のつながりを強化し活動を広げるため、ボランティア連絡協議会活動を支援しました。

○加入グループ
40グループ
(会員数736人)



○役員会・総会の支援

総会の準備や代表者会議に出席しました。

日時	会議の種類	内容	参加者
平成31年 4月26日(金)	代表者会議	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度(第33回)総会に向けて 平成30年度会計報告、令和元年度予算 平成30年度事業報告、令和元年度事業計画 研修会と交流会の時期について 役員改選について 	19人
令和元年 5月16日(木)	第33回 総会	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告および会計報告 平成31年度事業計画(案)および会計予算(案) 講演:「認知症の妻に寄り添って」 講師:池永 正勝 さん 	37人

令和元年 5月27日(月)	代表者会議	・令和元年度 会員交流会タイムスケジュールについて	12人
令和元年 6月19日(水)	代表者会議	・会員交流会について ・機関誌発行に向けて ・各グループ最近の活動状況 ・パワフル交流・市民の日について ・ボランティアフェスティバルについて	20人
令和元年 6月25日(火)	交流会	・【草津市出前講座】 内容：「こころの健康」知ることから始めてみませんか？ 講師：草津市健康増進課 岩崎 容子さん ・交流会懇談タイム 場所：なごみの郷	54人

●ボランティア保険加入促進

52,200円

ボランティア活動が安心しておこなえるよう「ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償する」ボランティア活動保険の加入を促進しました。

保 険 種 類	令和元年度	平成30年度
ボランティア活動保険	3,182人	3,104人
Aプラン		
Bプラン	715人	828人
天災Aプラン	60人	50人
天災Bプラン	12人	11人
連協加入	522人	587人
ボランティア行事用保険	245件	217件
送迎サービス保険	2件	2件
福祉サービス総合保障	12件	12件

●ボランティア団体活動助成

510,000円

市ボランティアセンターに登録しているグループを対象にボランティア活動の推進を図ることを目的に、1グループに対して5,000円を助成しました。

○助成団体数：102グループ(昨年度99グループ)

●民間助成の支援（意見書作成）

高齢者・児童・障害児者福祉活動を資金面で応援するため、各種機関から助成制度があり、意見書を添付することで民間助成を支援しました。

○2019年度大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」

【ハーモニカ・クラブ】

【湖州平楽遊会】

○しがぎん福祉基金助成

【特定非営利活動法人 宅老所 心】

(4) 住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくり

- ①学区社協活動をはじめとした地域福祉活動支援
- ②小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携
- ③ボランティアセンターの機能強化

●学区社協会長会の実施（学区社協便覧の作成等）

468,400 円

学区社協会長どうしの情報交換や福祉のまちづくりを推進することを目的に会議を実施しました。今年度については、学区社協便覧の作成や、医療福祉を考える会議の進捗状況などをテーマとして意見交換の場を持ち、会長どうしが積極的に情報交換できるよう努めました。また、共同募金等について学ぶ研修会も実施しました。

また、学区社協事務局長等会議を実施し、会長だけでなく、会長を支える事務局長にも今後活用いただけるような情報等を知っていただき、学区社会福祉協議会活動がより充実したものとなるよう支援しました。

○学区社協会長会

日 時	主 な 協 議 内 容
平成31年 4月22日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のふれあいの場づくり助成事業について ・福祉委員の委嘱について ・民間助成事業の案内について ・他機関の委員委嘱について ・えふえむ草津からの情報提供のお願いについて
令和元年 5月20日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・学区・区社協会長会会長、副会長の選任について ・草津市社会福祉協議会理事・評議員候補の推薦について ・地域懇談会について ・令和元年度社会福祉協議会一般会費・賛助会費について ・「第69回社会を明るくする運動」の街頭啓発の協力依頼について ・民間助成事業の案内について ・他機関の委員委嘱について
令和元年 6月20日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度赤い羽根共同募金運動へ協力依頼について ・地域福祉活動助成事業補助金の交付について ・地域サロン補助金の交付について ・令和元年度草津市社会福祉協議会会長表彰の候補者の推薦について ・令和元年度学区社協便覧について ・敬老会について ・令和元年度第二回草津市福祉教養大学について
令和元年 7月22日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・新役員について ・地域サロンの推進について ・「災害時の被災者支援に関する相互協力協定」の締結について ・歳末たすけあい募金街頭啓発の実施協力をお願いについて ・敬老会等の日程について ・民間助成事業の案内について ・学区社協活動の広報記事について

令和元年 8月20日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会「共同募金運動の仕組みについて」 講師：滋賀県共同募金会 榎森清高さん ・赤い羽根共同募金運動「街頭キャンペーンについて」 ・地域のふれあいの場づくり助成事業の採択について ・敬老会について ・フードバンクセンター事業について ・緑波祭の開催について ・民間助成事業の案内について
令和元年 9月20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・8月度学区社会福祉協議会事務局長等の報告について ・医療福祉を考える会議の実施状況について ・共同募金運動について ・歳末たすけあい子ども支援事業助成について ・草津市平和祈念のつどいについて(市健康福祉政策課から)
令和元年 10月21日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次草津市地域福祉活動計画の中間評価に係る各学区ヒアリング調査について ・敬老会の報告について ・民間助成の案内について ・令和元年度安全運転講習&送迎ボランティア交流会について
令和元年 11月20日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・草津市未来ノートについて ・令和元年度草津市災害ボランティアセンター運営訓練の実施について ・草津市福祉教養大学 実践発表会について ・民間助成事業の案内について
令和2年 1月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀の縁創造実践センターについて(滋賀県社会福祉協議会から) ・CPRトレーニングボトルについて ・令和元年度赤い羽根共同募金実績報告について
令和2年 2月20日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・学区の医療福祉を考える会議について(市長寿いきがい課・市地域保健課から) ・令和元年度赤い羽根共同募金実績報告について ・一般会費、賛助会費の報告とお礼について ・令和元年度地域福祉活動助成事業補助金実績報告書、令和2年度申請書の提出について

○事務局長等会議

開催日	内容
令和元年 8月10日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会「共同募金運動のしくみについて」 講師：滋賀県共同募金会 榎森清高さん ・草津市社会福祉協議会事業について ・意見交換
令和2年 2月27日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響のため中止

●地域福祉活動助成

6,294,900 円

地域の支えあい活動を推進するため、「福祉の土壌づくり」「活動の担い手づくり」「個別援助活動」「地域福祉関係団体間の交流」等の活動を展開する学区社協に対しての補助金を交付しました。また、個人・企業から集まった賛助会費について、学区社協の運営費として助成を行いました。

●地域福祉コーディネーターによる学区社協活動支援

14学区すべてに地域福祉コーディネーターを設置し、学区社協活動に参加協力支援してきました。特に近年、広がりを見せる医療福祉を考える会議では、打ち合わせ会議や振り返りの会議に参画し、住民が高齢者に関する生活問題について、専門機関と情報を共有し、新たな気付きが生まれ、地域福祉活動に広がりや深みができるよう支援しました。

学区・区	令和元年度 支援回数	主な支援内容
志津	26回	・医療福祉を考える会議への支援 ・地元スーパーでの共同募金の街頭啓発の支援
志津南	10回	・ふれあいハウス絆への支援 ・各種研修への支援
草津	14回	・立ち寄りカフェゆかい家への支援 ・草津の健幸を語り合うプロジェクトへの支援
大路	21回	・研修調整の支援 ・敬老会、地域サロンでの講師派遣
渋川	6回	・医療福祉を考える会議への支援
矢倉	13回	・ふれあい喫茶憩への支援 ・矢倉にここレストランへの支援
老上	93回	・カフェほっこり、老上送迎サポートへの支援 ・医療福祉を考える会議への支援
老上西	26回	・老上送迎サポートへの支援 ・各種研修への支援
玉川	37回	・医療福祉を考える会議への支援
南笠東	49回	・健幸プロジェクトへの支援 ・福祉懇談会への支援
山田	36回	・医療福祉を考える会議への支援 ・キラキラキッチンやまだっ子への支援
笠縫	32回	・ふれ愛おでかけ模擬体験への支援 ・福祉委員研修への支援
笠縫東	58回	・医療福祉を考える会議への支援 ・ふれあいサロン（もちつき大会）への支援
常盤	84回	・医療福祉を考える会議への支援 ・民間助成活用等の支援
計	505回	

●地域福祉活動推進の支援強化【拡大】

重点1

146,918円

令和元年度は第3次草津市地域福祉活動計画の3年目であり、計画がより実効性のあるものとして計画を推進していくため、計画の進捗状況を把握すべく、これまでの取り組みなど内容の点検や評価を行い、計画の基本的な方向や重点項目についても、情勢の変化などをふまえ見直しを行いました。また、地域福祉コーディネーター兼生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）が幅広い視点をもって地域で動けるための意見や知識を得る場としました。

また、各学区で学区社協役員との懇談会を実施し、市社協事業や、これからの地域福祉の進め方などについて意見交換を行い、学区の声や特徴をとらえた支援ができるよう努めました。

○策定委員会

開催日	内容
令和元年 8月1日（木）	第1回会議 ・平成30年度の委員会の持ち方について ・計画の中間評価について ・地域のふれあいの場づくり事業申請学区の採択について
令和元年 12月23日（月）	第2回会議 ・学区社協ヒアリングについて ・来年度以降の草津市社協重点事業（案）について
令和2年 3月10日（火） 【新型コロナウイルス感 染防止のため中止】	・計画の中間評価まとめと今後の展開案についての資料をまとめ、各委員へ送付した。

●草津市民生委員児童委員協議会事務局

毎月1回総務会、必要に応じ総務委員会を開催し、関係機関・団体などからの情報提供や協議を実施しました。また、5部会2委員会1連絡会をはじめとした民児協活動が有効に機能するように支援し、職員の学区担当制による情報提供やアドバイスをを行い、個別援助活動が円滑にできるように支援・協力をしました。

○専門部会・委員会・連絡会活動の支援

部会・委員会・連絡会名	主な活動内容
地域福祉部会	傾聴について、引きこもりについての研修会 単位民児協活動の活性化を図るため、交換民児協の結果のフィードバック
高齢者福祉部会	全民生委員・児童委員、市内地域包括支援センターにも参加を呼びかけ公開研修会の実施（高齢者に関わる素敵な物語の朗読会）
障害福祉部会	いきいきふれあい大運動会への参加協力 草津市精神障害者家族会 ひまわりの会との交流会 令和元年度くさつ市障害（児）者交流のつどいへの参加協力
児童福祉部会	「児童・青少年の健全育成」の一環として、子どもの居場所づくりについての研修会の実施
人権・同和部会	人権・同和に関する現地研修の実施 現地研修の事前・事後研修実施、意見交換

広報委員会	各種イベントへの参加 [ボランティアフェスティバル(緑波祭)他] 事例集「光もとめて」、広報紙「こぼと」の発行
研修委員会	全員研修では、倉敷市真備町より講師を迎え、民生委員・児童委員として日ごろの活動から災害に備えた取り組みについて意識を高めた。 グループ別県外研修では、知識の習得と委員相互の交流を深めた。
主任児童委員 連絡会	乳幼児健診（10か月健診）の見守り、小中学校との懇談会の実施 他市との交流（湖南地域4市、甲賀市）、講師を招いた研修会の実施

●歳末たすけあい見舞金の配付

4,539,000円

市内の準要保護世帯に、民生委員・児童委員と協力して見舞金を配布しました。また、一時的に支援が必要な世帯には緊急的な支援として食糧を支給しました。

さらに、福祉施設、団体等へ見舞金を配布しました。

- 市内の準要保護世帯への見舞金（対象世帯：426世帯）
- 福祉施設、団体等への見舞金（38施設）
- 歳末たすけあい子ども支援事業助成（3学区）
- 一時的に支援が必要な世帯に、緊急の食糧支援（21件）

●ボランティアセンター運営

557,407円

地域で活躍されているボランティアグループ・個人ボランティアへの相談援助に応じ、ボランティア活動の活性化を図りました。また、ボランティアの支援を必要とされている方とセンター登録されているボランティアとの間で需給調整を行いました。

【登録ボランティアの推移】

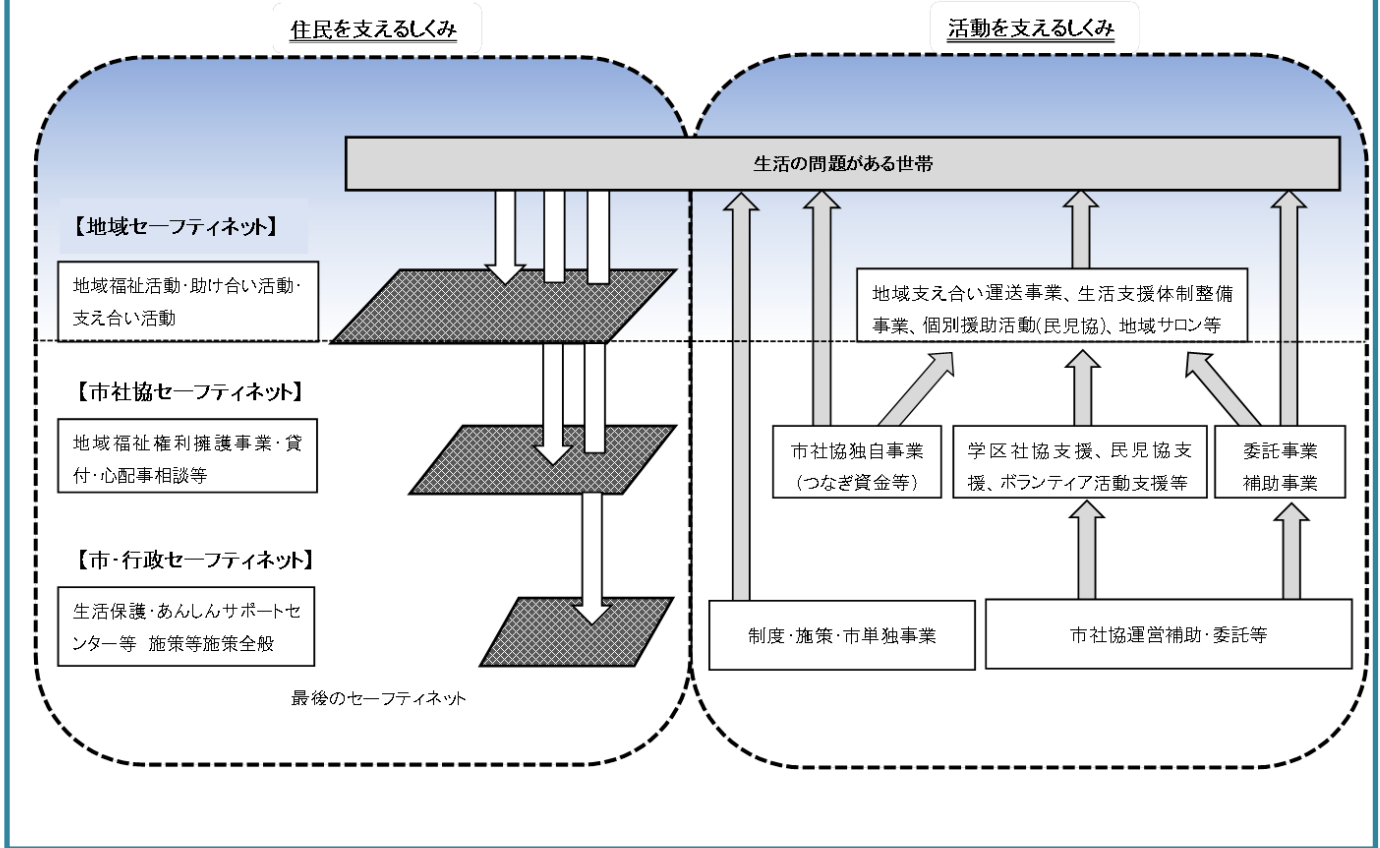
年度	ボランティアグループ		個人ボランティア	合計登録人数
	グループ数	人数		
令和元年度	357団体	6,372人	57人	6,429人
平成30年度	355団体	6,265人	54人	6,319人
平成29年度	331団体	5,000人	12人	5,012人
平成28年度	319団体	4,565人	13人	4,578人
平成27年度	319団体	5,052人	15人	5,067人
平成26年度	309団体	4,793人	22人	4,815人

【ボランティア需給調整（令和元年度実績）】

合計 (件数)	学校（幼・保）	サロン	施設	個人	団体	町内会・その他	相談
175	16	28	40	2	5	78	6

住民を支えるしくみと活動を支えるしくみ

住民を支える仕組みと活動を支えるしくみ



(5) 個別援助活動の充実と市社協の基盤づくり

- ① 地域福祉権利擁護事業の充実
- ② 心配ごと相談・貸付事業の充実
- ③ 行政・専門機関、福祉専門職との連携強化
- ④ 役員体制と事務局体制の強化
- ⑤ 地域福祉活動推進に要する財源確保

● 自立生活支援専門員、生活支援員による生活支援

3,947,409 円

判断能力が充分でないため、毎日の暮らしの中で福祉サービスの利用手続きや日常のお金の管理が不安な人が、地域で安心して生活を送れるように支援する地域福祉権利擁護事業の充実に努めました。

利用者に寄り添った、確実にきめ細かな支援を継続できるよう、今年度は生活支援員を3名増員しました。

【相談件数】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
高齢者	280件 (118件)	355件 (267件)	647件 (383件)	218件 (170件)	231件 (86件)

知的障害者	823件 (220件)	938件 (163件)	1,350件 (268件)	587件 (115件)	546件 (114件)
精神障害者	970件 (477件)	901件 (544件)	708件 (320件)	550件 (207件)	573件 (248件)
身体障害者	216件 (14件)	—	—	—	—
その他	0件(0件)	0件(0件)	0件(0件)	0件(0件)	1件(0件)
計	2,289件 (829件)	2,194件 (974件)	2,705件 (971件)	1,355件 (492件)	1,351件 (448件)

※平成29年度からは、電話相談等の支援についても件数として計上

※令和元年度から身体障害者項目追加

※()は生活保護受給者からの相談件数

【契約人数の推移】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
高齢者	5人	5人	5人	7人	7人
知的障害者	22人	24人	26人	27人	25人
精神障害者	14人	15人	12人	12人	11人
身体障害者	1人	—	—	—	—
その他	0人	0人	0人	0人	0人
合計	42人	44人	43人	46人	43人

【参考：契約人数の状況】

	平成30年度 契約人数 (A)	令和元年度 解約人数 (B)	令和元年度 新規契約人数 (C)	3月末現在契約人数 (内生活保護) (A) - (B) + (C)
高齢者	5人	2人	2人	5人(3人)
知的障害者	24人	2人	0人	22人(6人)
精神障害者	15人	1人	0人	14人(4人)
身体障害者	0人	1人	2人	1人(0人)
合計	44人	6人	4人	42人(13人)

【支援回数】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
支援回数	915回	829回	808回	729回	745回
内生活保護受給者支援回数	280回	309回	301回	291回	257回

○支援専門員・生活支援員の体制

- ・支援専門員： 3人
- ・生活支援員： 19人(男性： 6人 女性： 13人)

●地域福祉権利擁護事業 新規相談の受け経路

- ・地域包括支援センターからの相談 16件

- ・障害者福祉センターからの相談 9件
- ・ケアマネジャーからの相談 4件
- ・その他支援機関からの相談件数 19件

●心配ごと相談所開設

1,330,386円

住民の皆さんに身近な、なんでも相談窓口として「心配ごと相談所」を開設し、様々な相談に対応しました。

○月曜日から金曜日の10時～12時、13時～15時に開設しました。

○弁護士相談は、原則第1・第3水曜日に実施しました。

○年4回発行の市社協広報紙「社協くさつ」に毎回掲載し、周知に努めました。

内容	令和元年度	平成30年度	内容	令和元年度	平成30年度	内容	令和元年度	平成30年度
離婚	6件	5件	生計	6件	2件	精神保健	2件	8件
家族	31件	19件	財産	21件	13件	苦情	9件	1件
人権・法律	2件	2件	住宅	9件	2件	職業・生業	23件	63件
事故	1件	0件	消費者問題	0件	1件	医療	1件	17件
結婚	1件	0件	環境	6件	1件	高齢者福祉	2件	5件
年金	0件	0件	児童福祉	0件	0件	教育・青少年	0件	2件
心身障害児童福祉	4件	0件	母子父子福祉	0件	0件	その他	148件	98件
合計							250件	239件

●相談員連絡会の開催

相談員連絡会は年6回開催し、相談員どうしの情報交換を行いました。

●生活つなぎ資金貸付

1,540,000円

民生委員・児童委員と連携し、一時的に生活困難に陥った世帯が再び安定した生活に戻るまでの間をつなぐため、生活つなぎ資金を貸し付けました。

【貸付相談件数】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
貸付相談件数	42件	47件	45件	83件	84件

【貸付状況】

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
貸付件数	37件	32件	41件	62件	57件
貸付額	1,540,000円	1,283,000円	1,970,000円	2,665,350円	2,595,000円

●生活福祉資金貸付

2,672,000円

滋賀県社協が実施している生活福祉資金の貸付相談や手続きを行うための職員を配置し、生活困窮者に対する相談支援を実施しました。相談については、市に設置されているくらしのサポートセンターとも連携し、切れ目のない支援に努めました。

【貸付相談件数】

(単位：件)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
貸付相談件数	125	52	46	52	77

【貸付件数】

(単位：件)

	総合支援資金	福祉資金		教育支援資金	不動産担保型生活資金	臨時特例つなぎ資金	生活復興支援資金	合計
		緊急小口資金	福祉費					
令和元年度	0	15	9	10	0	0	0	34
平成30年度	0	4	7	13	0	0	0	24
平成29年度	1	7	5	10	0	0	0	23
平成28年度	0	3	3	25	0	0	0	31
平成27年度	2	2	4	12	0	0	0	20
平成26年度	9	4	8	10	1	0	0	32

●生活支援体制整備事業（地域支えあい推進員の配置と協議体の設置） 重点1

18,787,874円

○医療福祉を考える会議の支援

「生活支援体制整備事業」を市から受託し、事業の展開にとって極めて重要な場である、医療福祉を考える会議に充実と、新たな学区での医療福祉を考える会議の立ち上げを支援しました。また、地域支えあい推進員（生活支援コーディネーター）を配置し、医療福祉を考える会議に積極的に関わり、地域づくりの支援を行いました。

また、学区住民に医療福祉を考える会議の周知・啓発を行うため、広報紙「社協くさつ」にて会議の様子の記事を掲載したり、地域によっては「医療福祉を考える会議新聞」を作成しました。

学区	開始年度	令和元年度		延べ本番会議開催数
		主なテーマ	本番会議開催数 (会議開催にあたる打合せ等の支援回数)	
志津	H27	志津のあんしんつながりノートのバージョンアップ	3回 (18回)	17回
志津南	未実施	会議の開催に向けて、福祉フォーラムを企画	— (4回)	—
草津	H30	一緒に地域づくり	2回 (5回)	4回
大路	未実施	支えあいの機運を高める	— (0回)	—
渋川	H27	「定期的な病気相談会」や「よろず相談会」の開催に向けて	1回 (8回)	8回
矢倉	H27	居場所を広げよう	2回 (11回)	12回
老上	H24	命のバトンの作成に向けて	1回 (40回)	18回

老上西	H 2 4	安心声掛け訓練の実施	2回	(11回)	18回
玉川	H 2 9	施設に出向き、専門職からの話を聞く	2回	(24回)	7回
南笠東	H 2 8	健幸に生きるために必要なことを学ぶ	0回	(8回)	6回
山田	H 2 5	地域と専門職が共に連携して支えあいを広げるには	2回	(15回)	17回
笠縫	H 2 8	ふれ愛おでかけ模擬体験の実施	13回	(47回)	24回
笠縫東	H 2 4	学区にある事業所を知ろう	1回	(14回)	17回
常盤	H 2 7	学区で最期まで自分らしく生きるには	2回	(67回)	10回
合計			31回	(275回)	158回

○研修への参加

外部で実施される研修会に参加し、地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）としてのスキルアップを図りました。

開催日	実施主体	内容	参加者
令和元年10月30日（水）	湖南地域社会福祉連絡協議会	・湖南地域社会福祉連絡協議会 ・役職員視察研修	1人
令和元年12月21日（土）	第31回近畿地域福祉学会 滋賀大会実行委員会	・第31回近畿地域福祉学会 「共感の輪を広げる地域づくり」	2人

○地域包括支援センター、市等との連携

地域づくりは関係機関との連携が不可欠であるため、特に地域に入っていく中心を担う圏域地域包括支援センター・市・市社協で、医療福祉を考える会議の本会議の前に、3者で事前会議を十分に行い、丁寧な会議の開催に努めました。

また、地域包括支援センターが実施する地域ケア個別会議に随時参加し、生活支援コーディネーターとしての視点を用いながら多職種連携を高めるとともに、支援を必要とする高齢者のニーズの把握に努めました。

○市と市社協の連携強化

地域保健課、長寿いきがい課などと毎月調整会議を実施し、事業展開について協議しました。

●人とくらしのサポートセンター等市関係機関との連携

健康福祉政策課をはじめとした福祉関係各課と、新たな地域福祉活動の支援のあり方について検討を行いました。また、生活に関する困り事を抱えている人について、市社協と人とくらしのサポートセンター等との間で互いに情報を共有し、連携して支援しました。

- ・草津市人とくらしのサポートセンター運営会議への出席

日時：令和2年2月20日（木）

議題：今年度の連携状況について、相談のあった「ひきこもり事案」の紹介

- ・高齢者虐待処遇検討会議や各利用者のケース会議等に随時参加
市高齢者虐待処遇検討会議（年／6回）
市権利擁護事例検討会（随時）
- ・生活支援課と市社協の勉強会
連携をとって住民に丁寧に対応するため、お互いの事業を知り、流れを確認しました。
日時：令和元年7月29日（月）
議題：生活つなぎ資金、生活福祉資金、地域福祉権利擁護事業、フードバンク事業、生活保護制度について
- ・自立支援地域ケア個別会議
目標やアドバイスの達成状況を確認し、地域資源などの提供を行うことで、介護保険サービスだけでなく地域での活動や参加につなげるアドバイスを行いました。
日時：4月25日（木） 5月23日（木） 6月20日（木） 7月18日（木）
8月29日（木） 9月26日（木） 10月24日（木） 11月21日（木）
12月19日（木） 1月23日（木） 2月20日（木）
振り返り会議
日時：10月2日（水） 11月6日（水） 12月4日（水） 1月8日（水）
2月5日（水）
- ・福祉関係課長会議
市福祉関係課長と共生社会の実現に向けての共有を図りました。
日時：令和元年11月12日（火）

●中間支援組織連携

中間支援組織として位置づけされている草津市コミュニティ事業団と共に、ロクハ荘での「とく得バスツアー」等の事業を実施する他、「パワフル交流・市民の日」や市社協・ロクハ公園、ロクハ荘・草津青年会議所との三者合同開催の第8回ボランティアフェスティバルを実施し、連携を深めました。

●第三者委員の設置

苦情対応窓口を設置し、苦情解決の第三者委員を配置しています。

開催日：令和2年3月13日（金）

場 所：市社協第1ボランティア活動室

内 容：苦情・事案の報告（生活福祉資金・生活つなぎ資金貸付事業、草津市地域福祉権利擁護事業、民生委員児童委員事務局関係、共同募金委員会事務局関係、日本赤十字社滋賀県支部草津市地区委員会事務局関係）

第三者委員：小林由美子、奥井晴喜、長谷川清

●役員会の開催ならびに研修会の開催

444,498 円

理事会、評議員会、正副会長会、評議員選任解任委員会を適宜開催するとともに、研修会の実施や

参加、他機関の会議等への積極的な参加協力を行い、役員体制の強化を図りました。

○正副会長会

開催日		議案
第1回	令和元年 5月28日(火)	※理事会の提出議案について ・平成30年度事業報告の承認について ・平成30年度決算の承認について ・令和元年度1次補正資金収支予算(案)の承認について ・理事候補および監事候補の推薦について ・令和元年度定時評議員会の招集について ・評議員候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の招集について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について
第2回	令和元年 10月1日(火)	社会福祉功労者表彰表彰者の選定について
第3回	令和2年 2月27日(木)	※理事会の提出議案について ・令和元年度第2次補正資金収支予算(案)の同意について ・令和2年度事業計画(案)の同意について ・令和2年度資金収支予算(案)の同意について ・令和2年度役員報酬の総額について ・令和2年度資金運用計画(案)の承認について ・令和元年度第3回評議員会の招集について ・評議員選任・解任委員会の招集および補欠評議員候補者の推薦について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について

○理事会・評議員会・評議員選任解任委員会

(理事会)

開催日		議案
第1回	令和元年 6月4日(火)	・平成30年度事業報告の承認について ・平成30年度決算の承認について ・令和元年度1次補正資金収支予算(案)の承認について ・理事候補および監事候補の推薦について ・令和元年度定時評議員会の招集について ・評議員候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の招集について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について
第2回	令和元年 6月21日(金)	・会長の選定について ・副会長の選定について ・常務理事の選定について ・評議員候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の招集について ・災害時の被災者支援に関する相互協定について

第3回	令和元年 12月12日(木) (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の補充選任に伴う、評議員会に提出する理事候補者の選任について ・評議員の補充選任に伴う、評議員選任・解任委員会に推薦する評議員候補者の選任について ・評議員の補充選任に伴う、評議員選任・解任委員会を招集することについて
第4回	令和2年 2月14日(金) (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長の選定について
第5回	令和2年 3月5日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第2次補正資金収支予算(案)の同意について ・令和2年度事業計画(案)の同意について ・令和2年度資金収支予算(案)の同意について ・令和2年度役員報酬の総額について ・令和2年度資金運用計画(案)の承認について ・令和元年度第3回評議員会の招集について ・評議員選任・解任委員会の招集および補欠評議員候補者の推薦について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について

(評議員会)

開催日		議案
第1回	令和元年 6月21日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告の承認について ・平成30年度決算の承認について ・令和元年度1次補正資金収支予算(案)の承認について ・理事および監事の選任について
第2回	令和2年 1月23日(木) (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> ・補充理事の選任について
第3回	令和2年 3月17日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第2次補正資金収支予算(案)の承認について ・令和2年度事業計画(案)の承認について ・令和2年度資金収支予算(案)の承認について ・令和2年度役員報酬の総額について

(評議員選任解任委員会)

開催日		議案
第1回	令和元年 6月11日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員退任届の受理について ・補充評議員の選任について
第2回	令和元年 7月12日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員退任届の受理に伴う解任について ・補充評議員の選任について
第3回	令和元年 12月13日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員退任届の受理に伴う解任について ・補充評議員の選任について
第4回	令和2年	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員退任届の受理に伴う解任について

○他機関の会議への参画

草津市市政功労者表彰選考委員会、草津市民生委員推薦会、草津市人権擁護審議会、草津市健康づくり推進協議会、草津市ごみ問題を考える草津市民会議、草津市人権擁護推進協議会、草津市同和教育推進協議会、草津市自殺対策推進会議、草津市福祉有償運送運営協議会、草津市地域包括支援センター運営協議会、草津市認知症施策推進会議、草津市障害者施策推進審議会、草津市特定旅館建築規制審議会、草津市あんしんいきいきプラン委員会、草津市青少年育成市民会議、草津市要保護児童地域対策協議会、草津市立障害者福祉センター運営協議会、草津市発達障害者等支援システム推進協議会、日本赤十字社滋賀県支部評議員会、社会福祉法人滋賀県共同募金会監査委員、公益財団法人草津市コミュニティ事業団理事会、草津市総合計画審議会、草津市地域福祉推進市民委員会、草津市平和祈念のつどい実行委員会、草津市都市計画マスタープラン策定委員会、草津市空家等対策推進協議会、社会福祉法人湖南会評議員会、湖南地域社会福祉連絡協議会、県立むれやま荘

○役員研修会 1

市社協事業の実際を見ていただくとともに、地域住民や福祉関係者とともに地域福祉活動について研修いただく機会として、第8回ボランティアフェスティバルにおいて第2回草津市福祉教養大学第3講座をオープンキャンパスとして開催しました。(再掲)

演 題：多様な生き様～あなたも何かできるかもしれない～

講 師：社会福祉法人こなんSSN 福島孝一さん

NPO法人ディフェンス理事 宮下千代美さん

西方寺副住職・介護福祉士 牧哲玄さん

便利屋オタ助代表 田淵翔司さん

開催日：令和元年10月5日(土)

場 所：ロクハ荘

○役員研修会 2

滋湖南地域社会福祉連絡協議会が主催する役職員視察研修に参加しました。

開催日：令和元年10月30日(水)

場 所：伊勢市社会福祉協議会サテライトげんこころ一む

内 容：・伊勢市社協の取り組み概要について

・常設型災害ボランティアセンターの取り組みについて

対 象：湖南地域の社会福祉協議会の役員等

参加者：3人

●職員会議、職員研修の開催

毎月、生活支援体制整備推進事業や地域福祉権利擁護事業、ボランティアセンターの運営について職員会議を行い、また個人情報保護および人権意識の向上に向けた職員研修を実施しました。

外部研修として、県社協主催の研修等に参加しました。

●地球温暖化防止推進

5,319円

ゴーヤーカーテンを育て、夏季のエアコンの使用量を削減し、冬季はウォームビズに取り組み、地

球温暖化の防止に努めました。

また、ペットボトルキャップやプルトップ、使用済み切手の回収（収集ボランティア）に取り組み、市内全体のエコ活動の啓発・推進に努めました。

●市社協会費

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
一般会員	33,387 世帯	30,395 世帯	27,911 世帯	31,804 世帯	31,461 世帯
	4,673,200 円	4,659,250 円	4,860,100 円	4,770,600 円	4,719,150 円
賛助会員	585.6 口	610.6 口	620.6 口	656.6 口	700.2 口
	2,928,000 円	3,053,000 円	3,103,000 円	3,283,000 円	3,501,000 円
計	7,601,200 円	7,712,250 円	7,963,100 円	8,053,600 円	8,220,150 円

●「社協くさつ」「ホームページ」有料広告

185,000 円

市社協広報紙「社協くさつ」にて、有料広告を募集し、財源確保に努めました。

○社協くさつ広告掲載企業（基本枠45,000円）

6月15日号…木川営農組合、(有)三王都市開発、宅配COOK123、(株)ヤマキ

9月15日号…木川営農組合、(有)三王都市開発、宅配COOK123、(株)ヤマキ

11月1日号…木川営農組合、(有)三王都市開発、宅配COOK123、(株)ヤマキ

3月15日号…木川営農組合、(有)三王都市開発、宅配COOK123、(株)ヤマキ

○ホームページ広告掲載企業（基本枠20,000円）

H31年1月から1年間…(株)三井田商事、R元年9月から半年…アガタ電子(株)

●善意銀行の活用と運用、寄附金の募集

寄附金の増収および地域住民が気軽に参加・協力できる地域福祉の推進を図るため、企業が提供する名刺に対し一定の割合で企業等が売り上げの一部を当会に寄附する「寄附付き名刺」を発行しました。

社会福祉全般における市民からいただいた善意の寄附金・物品は、善意銀行事業として社会福祉施設、社会福祉団体や援助の必要な人のために役立てました。また、ボランティア基金に寄せられた寄附はボランティアセンター運営にかかる様々な事業実施のために活用しました。

さらに、広報紙・ホームページにて、いただいた寄附金を掲載し、寄附金募集の啓発に努めました。

【寄附金状況】

寄附名	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
-----	-------	--------	--------	--------

	寄附金額		寄附金額		寄附金額		寄附金額	
市社協が行う各地域福祉事業に対する寄附	69件	1,564,714円	42件	1,602,310円	43件	1,286,806円	31件	1,408,504円
ボランティア基金事業	9件	241,793円	12件	215,720円	8件	323,662円	4件	254,203円
善意銀行	12件	399,636円	8件	177,400円	11件	416,616円	16件	505,264円
施設設備等寄付金	1件	140,000円						
災害復興基金	0件	0円	0件	0円	6件	91,174円	2件	130,000円
計	90件	2,206,143円	62件	1,995,430円	68件	2,118,258円	53件	2,297,971円

※災害復興基金は、平成29年度に目標の400万円を達成し、現在募集しておりません。

※善意銀行に施設設備等寄付金収入（1件 140,000円）を含む

【寄附物品状況】 ※順不同・敬称略

○車椅子 8台（㈱ツルハホールディングス・クラシエホールディングス㈱、（有）三洋エバーライフ、㈱ケーエスケー、関西遊技機商機協同組合、滋賀日産自動車㈱、匿名 各1台、小林成子 2台）

※中古3台含む。

○次亜塩素酸水 2件（（有）管材技研）

○マスク 1件（社会福祉法人 湖南会）

○刺繍糸 1件（匿名）

○お地蔵様のエプロン 3件（白井 政夫・恵栄）

○歯ブラシ 1件（二宮 邦雄）

○タンブラー 1件（匿名）

○洗剤、歩数計、ポット 1件（㈱マルハン草津店）

○折り紙 1件（大阪ガス㈱滋賀地区）

○タオル 1件（匿名）

○寝巻 1件（匿名）

○歩行器 1件（小林 成子）

○ビンゴカード 1件（匿名）

○石鹸 1件（匿名）

○リハビリパンツ、大人用紙おむつ、尿取りパッド、子ども用紙おむつ等 35件

●共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）運動の推進

民間福祉事業の振興を図るために10月1日から12月31日まで、全国的に展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進しました。

赤い羽根共同募金	8, 670, 138円
歳末たすけあい募金	5, 623, 668円
計	14, 293, 806円

●赤十字事業の推進(日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局)

日本赤十字社の活動資金募集や、赤十字活動の普及を図りました。また、赤十字活動を支えるボランティアである草津市赤十字奉仕団の活動を支援し、ボランティアフェスティバルをはじめ、「社協くさつ」にて団員募集記事を掲載し、団員の増員を呼びかけました。

義援金	4, 753, 742円
令和元年台風第19号災害義援金	2, 317, 993円
令和元年台風第15号東京都義援金	375円
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	56, 082円
令和元年8月豪雨災害義援金	56, 879円
平成30年北海道胆振胆振東部地震災害義援金	123, 009円
平成30年7月豪雨災害義援金	2, 139, 946円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	1, 836, 599円
平成28年熊本地震災害義援金	7, 500, 579円
東日本大震災義援金	55, 889, 341円

●学区社協の活動拠点「ふれあいハウス絆」「立ち寄りカフェゆかい家」への支援

志津南学区と草津学区にある学区社協の活動拠点「ふれあいハウス絆」と「立ち寄りカフェゆかい家」が実施する事業、活動に対する相談や物資の支援を行い、活動の活性化を図りました。

また、ボランティアをやってみたい人にゆかい家での活動を紹介し、実際に活動につなげました。

この事業報告書は、第3次地域福祉活動計画（H29～H33）の進捗・評価の観点から、活動計画の推進項目と整合性を持たせた構成としました。